Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

マイクロコンポーネントシステム

型名 **UX-LP7**
UX-LP6
UX-LP5

お買い上げいただきありがとうございます

ご使用の前に
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

・UX-LP7、UX-LP6、UX-LP5の機能・仕様は同一です。本書ではUX-LP5のイラストを使って説明しています。

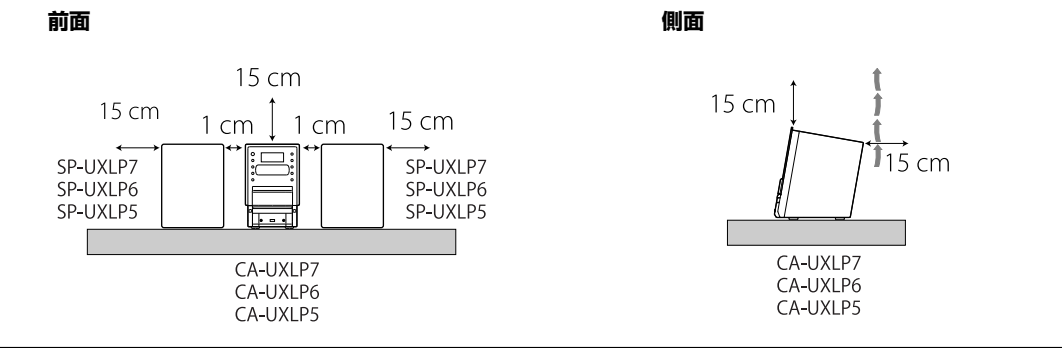
■ 付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

・リモコン（1個）:
RM-SUXLP6（UX-LP7/UX-LP6）
RM-SUXLP5（UX-LP5）
・リチウム電池（1個）:CR2025
（出荷時にリモコンの中に入っています）
・FM 簡易型アンテナ（1本）
・AM ループアンテナ（1個）
・保護シート（1枚）

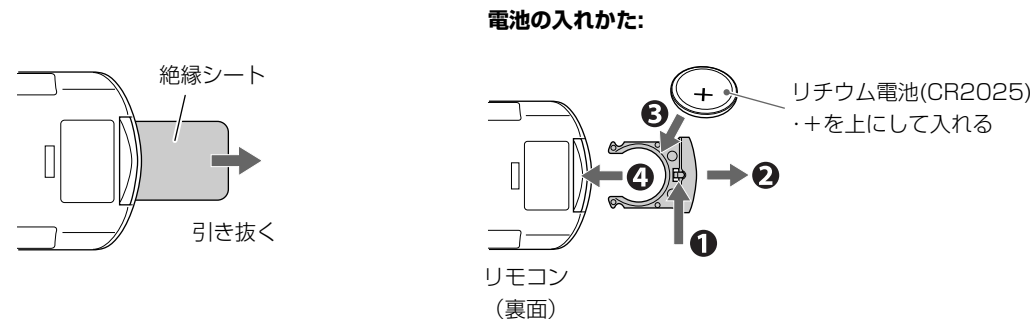
LVT1986-022D
0809KMMMDWCDT

はじめに

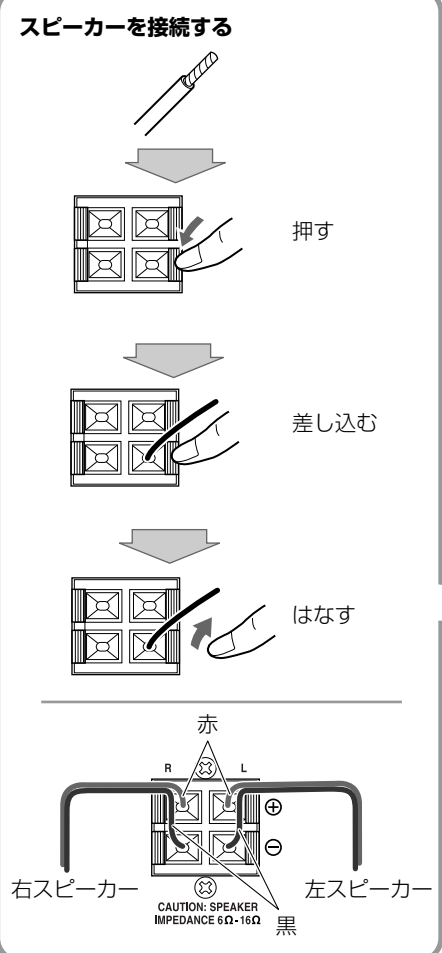
本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない
・本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
・テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
・本や雑誌などをのせない
・じゅうたんや布団の上に置かない

■ リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

絶縁シート
引き抜く

電池の入れかた:
リチウム電池(CR2025)
・＋を上にして入れる
リモコン
（裏面）

ご注意:
・付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
・電池は、「安全上のご注意(別紙)」をお読みの上、正しくお取り扱いください。
・操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
・落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

接続する

ご注意:
・両方のスピーカーが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。
・スピーカーコードを接続する場合は、+と−を間違えないようにしてください。
・１つのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続しないでください。
・スピーカーコードの導線部分を本体の金属部分に接触させないでください。
・アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないように注意してください。また、アンテナをケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

ご注意:
すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。

ご注意:
AMループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

接続したAMループアンテナを左右に回して、最も受信状態の良い方向に向けます。

FM簡易型アンテナ（付属品）を接続する
最も受信状態の良い位置と方向に伸ばしてください。

電源コードを接続する
すべての接続が終わったら電源コードを接続します。

■ マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき

電波状況が良くないときは、フィーダーアンテナ CN-511A(別売り：300Ω対応)をご利用いただくと改善される場合があります。
この場合もアンテナコネクター VZ-71A(別売り)が必要です。
・付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
・アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。(→5ページ)

お知らせ:
・ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

基本操作

デモ表示について(初めてお使いになるとき):
電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓に本機の特長や機能などを表示するデモ表示が自動的に始まります。電源が切れているときに本体の[DEMO]を2秒以上押すと、「DEMO CLR」と表示されデモ表示を解除できます。
・本機がエコモードのときは、デモ表示はされません。(デモ表示の解除もできません)
・デモ表示が設定されているときは、電源を入れたまま2分間操作をしないとデモ表示が始まります。

ヘッドホンを使うときのご注意:
ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。
・ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
・音質調整はヘッドホンからの音声にも有効です。
・極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

お知らせ:
本書の4ページから6ページでは、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。
・本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

操作	操作ボタン 本体	操作ボタン リモコン	表示/説明
電源を入れる/切る(待機)	⏻/I	⏻/I	本体のSTANDBYランプが消灯・点灯します。
ソース（音源）を選ぶ	CD ▷・II	▶/II CD	・「CD/USB機器を再生する」(→ 4ページ)
	USB MEMORY ▷・II	▶/II USB	・「iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る」(→ 5ページ)
	iPod ▷・II	▶/II iPod	
	FM/AM/AUDIO IN	AUDIO IN FM/AM	くり返し押すと、次のように切り換わります。 AUDIO IN → TUNER FM → TUNER AM ・「ラジオ放送を聞く」(→ 5ページ) ・「他のオーディオ機器の音楽を聞く」(→ 6ページ)
音量を調節する	VOL + / VOL −	＋ 音量 −	調節範囲: VOL MIN(0) ～ VOL MAX(40)
一時的に消音する	—	消音	もう一度押すと元の音量に戻ります。
音を際立たせる(サウンドターボ)	—	サウンドターボ	S.TURBO表示が点灯します。 解除するには、もう一度押します。
重低音を強める	—	スーパーバス	BASS表示が点灯します。解除するときには、もう一度押します。 ・サウンドターボを有効にすると、スーパーバスは無効になりBASS表示も点灯しません。
低音と高音を調節する	—	低音/高音 ＋ 音量 −	一度押すと低音(BASS)が、二度押すと高音(TRE)が選べます。 [+]と[−]を押して調節してください。 調節範囲: −3～+3
表示窓の明るさを変える	ECO/DIMMER DEMO	ディマー	押すごとに表示窓やランプなどの明るさが次のように切り換わります。 DIM1 → DIM2 → DIM OFF
時計を合わせる	—	時計/タイマー	・「時計・タイマーを使う」(→ 6ページ)
表示窓の情報を変える	—	表示	表示される情報が次のように切り換わります。 FM/AM: 時刻→ 周波数 CD: 再生経過時間 → 時刻 MP3/WMA: 再生経過時間 → タグ情報 → 再生中のグループ/曲 → 時刻
エコモードを設定する	ECO/DIMMER DEMO	—	電源が切れているときに押してください。 エコモードを設定すると、電源が切れているときに表示窓の時刻表示が消え、消費電力を抑えることができます。 解除するには、電源が切れているときにもう一度押してください。

CD/USB機器を再生する

■ CDを入れる（本体からのみ操作できます）

1 ⏏ CDトレイが開きます。

2
・8 cmCDは内側の凹部に置きます。

3 ⏏ CDトレイが閉まります。

■ USB機器を接続する

USBマスストレージ規格対応のUSB機器(USBフラッシュメモリーやMP3プレーヤー)が接続できます。

前面

MP3またはWMAファイルを再生したときは、ファイル形式表示(MP3またはWMA)が点灯します。

ご注意:
・USBケーブルを接続するときは、長さが1m以下のUSB2.0対応ケーブルを使用してください。
・エコモード設定時以外はUSB機器を充電できます。(ソース(音源)として「USB」を選んでいないと充電できないUSB機器もあります)
・本機のUSB端子はパソコンと接続できません。
・本機の電源が入っているときにUSB機器をはずさないでください。本機やUSB機器の故障の原因となります。
・雑音や静電気でUSB機器からの音声が途切れることがあります。その場合は、本機の電源を切り、USB機器の抜き差しを行なってください。

■ CDの取り出しをロックする—チャイルドロック

（本体からのみ操作できます）

CDを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ ＋ ⏏ 電源が切れているときに2秒以上押し続けます。
設定を解除するには、同じ操作をしてください。

■ CD/USB機器の基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
CDを再生する	▶/II CD	・再生されている曲の番号や再生経過時間が表示されます。
USB機器を再生する	▶/II USB	・再生中にもう一度押すと一時停止します。
停止する	■	・停止中は総曲数や総再生時間が表示されます。
曲を選ぶ	▶▶I	次の曲を選びます。
	I◀◀	現在再生している曲または前の曲の先頭に戻ります。
グループを選ぶ(MP3/WMAのみ)	UP	次のグループを選びます。
	DOWN	前のグループを選びます。
早送り/早戻し	▶▶I	再生中に押し続けると早送りします。 ボタンをはなすと早送りが止まります。
	▶▶	再生中に押すと早送りします。 [▶/II]を押すと早送りが止まります。
	I◀◀	再生中に押し続けると早戻しします。 ボタンをはなすと早戻しが止まります。
	◀◀	再生中に押すと早戻しします。 [▶/II]を押すと早戻しが止まります。
表示情報を変える	表示	くり返し押してください。

ご注意:
・CDが入っていないときやUSB機器が接続されていないときは、メインディスプレイに「NO DISC」または「NO USB」と表示されます。
・CDやUSB機器にMP3/WMAファイルが録音されていないときは、メインディスプレイに「NO PLAY」と表示されます。

リジューム再生する

[■]を一度押すかソース(音源)を変えて再生を中断した場合、次に再生したときに、中断した曲の先頭から再生が始まります。

リジューム

RESUME表示が点灯し、リジューム再生が有効になります。
・リジューム再生を解除するには、もう一度[リジューム]を押してください。
・停止中に[■]を押す(またはCDトレイを開けるかUSB機器を取りはずす)と、次に再生したときは１曲目から再生が始まります。

ご注意: プログラム再生中は、リジューム再生できません。

リピート再生する

聞きたい曲をくり返し再生します。

1 リピート くり返し押して、リピートの種類を選びます。
1: 現在の(または指定した)曲をくり返す
: 現在のグループをくり返す（MP3/WMAのみ）
ALL: すべての曲をくり返す
表示なし:リピート再生を解除する

2 ▶/II CD または ▶/II USB

登録した曲を再生する(プログラム再生)

聞きたい曲を登録して再生します。

1 プログラム 停止中に押します。PRGM表示が点灯します。

2
曲番号を選びます。

3 決定 選んだ曲が登録されます。

4 手順**2**と**3**をくり返し、他の曲を登録します。
・32曲目を登録しようとすると、「PRG FULL」と表示され、それ以上は登録できません。

5 ▶/II CD または ▶/II USB プログラム再生が始まります。

プログラム再生の操作（プログラム再生の停止中に行なってください）
・プログラム内容を確認するには、くり返し[決定]を押してください。
・曲を追加するには、[決定]をくり返し押して「- - -」を表示させたあとに、手順**2**と**3**を行なってください。
・プログラム内容を消去したり、プログラム再生を解除したりするには、[■]を押してください。

ランダム再生する

ランダム(無作為)な順序で再生します。

ランダム RDM表示が点灯し、ランダム（無作為）な順序で曲が再生されます。

ランダム再生の操作
・曲をスキップするには、[▶▶I]を押してください。
・再生中の曲の始めに戻るには、[I◀◀]を押してください。
・ランダム再生を解除するには、再生中に[ランダム]を押してRDM表示を消灯させてください。

iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る

■ iPodを接続する

「PUSH-OPEN」を押して iPod用ドックを開きます。

iPod を直接コネクターピンに接続します。

前面

ドックアダプター（iPodに付属または別売り）

コネクターピン

iPod

iPod用ドックからドックアダプターを取りはずす

指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。

- 爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

iPodと本機正面パネルが接触する場合は、傷の防止のため付属の保護シートを本機に貼り付けてください。(別紙参照)

- iPodを接続するときは、ドックアダプター(iPodに付属または別売り)を使用してください。
- iPod用ドックを閉じるときは、ドックアダプターを取りはずしてください。
- iPodを接続するときは、必ず本機の音量を最小にしてください。音量は再生してから調節してください。
- 本機の電源を入れたまま、iPodを抜き差ししないでください。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- コネクターの端子部分に直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 接続したテレビで iPodの動画や写真を見る前に、iPodの映像出力やテレビの映像入力を正しく設定してください。詳しくは、iPodやテレビの取扱説明書をご覧ください。

■ iPodの基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
iPodを再生する	►/II iPod	本機がiPodを認識して、再生が始まります。 • iPodの電源を切るには、押し続けてください。
曲を選ぶ	►►I	再生中に次の曲を選びます。
	I◄◄	再生中の曲または前の曲の先頭に戻ります。
早送り/早戻し	►►	再生中に押しつづけると早送りします。
	◄◄	再生中に押しつづけると早戻しします。
メニューを表示する/前のメニューに戻る	メニュー/キャンセル	メニューを表示します。または、前のメニューに戻ります。
項目やメニューを選ぶ	UP または DOWN 決定	• [UP]/[DOWN]ボタンはiPodのホイール（時計回り/反時計回り）と同じ役割です。 （詳しくはiPodの説明書をご覧ください。）
ランダム再生する	ランダム	• 詳しくはiPodの説明書をご覧ください。
くり返し再生する	リピート	• 詳しくはiPodの説明書をご覧ください。
表示情報を変える	表示	くり返し押します。

ラジオ放送を聞く

■ ラジオの基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
AM/FMを選ぶ	AUDIO IN FM/AM	くり返し押してFMまたはAMを選びます。
放送局（周波数)を選ぶ	I◄◄ または ►►I	2秒以上押し続けると、本機が自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。 • FMステレオ放送を受信すると S (stereo)表示が点灯します。 (受信状態が良い場合) • 選局を止めたいときは、もう一度押します。 • くり返し押すと、FMでは0.1MHzずつ、AMでは9kHzずつ変わります。
放送局を呼び出す	UP または DOWN	プリセット番号を選びます。 • プリセットについては「放送局を記憶させる(プリセット)」をご覧ください。
FMモードを切り替える(FMステレオ放送が聞きにくいとき)	FMモード	音声がモノラルになり、聞きやすくなります。 M (mono) 表示が点灯し、ステレオ効果がなくなります。 ステレオ受信に戻すには、もう一度押してください。

お知らせ:

- 本機はAMステレオ放送には対応していません。

■ 放送局を記憶させる（プリセット）

FM放送は最大30局、AM 放送は最大15局までそれぞれ記憶させることができます。
FMとAMそれぞれについて操作してください。

1 記憶させたい放送局を受信します。

2 プログラム　プリセット番号が点滅します。
- 表示が点滅している間に、以下の手順を行ってください。

3 UP または DOWN　記憶させたい番号を選びます。

4 決定　押すと放送局が記憶されます。

ご参考に

基本操作 (→3ページ)

- ソース(音源)の準備ができている場合は、本体のソース(音源)ボタンを押しても、再生を始めることができます。
- 一時的にデモ表示が出ないようにするには、本機の電源が入っているときに、「DEMO OFF」が表示されるまで[DEMO]を押し続けてください。ただし、電源コードを抜き差しすると、再びデモが表示されるようになります。
- 本機からiPodやUSB機器へのデータの転送はできません。

CD/USB機器を再生する (→4ページ)

- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- MP3/WMAの再生について
  - 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。
  - 本機ではタグ情報(Version1)を表示できます（ただし日本語表示はできません）。
  - MP3/WMAファイルの入ったCDは、通常の音楽CDより読み取りに時間がかかります(グループやファイルの構成により、読み取り時間は異なります)。
  - 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
  - MP3/WMAディスクを作成する場合は、ディスクフォーマットを ISO9660 Level 1または Level 2にしてください。
  - 本機では拡張子が<.mp3>または<.wma>のMP3/WMAファイルが再生できます。(大文字と小文字混在した拡張子でも可)
  - MP3/WMAファイルはサンプリング周波数44.1kHzとビットレート128kbpsで作成することをおすすめします。本機では64kbps以下のビットレートで作成されたファイルは再生できません。
  - MP3/WMAファイルの再生順は、録音時に意図した順序と異なることがあります。
    MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。
- 次のようなUSB機器は使用しないでください
  - 定格が電圧5V、消費電力500 mAを超えている
  - セキュリティー機能のような特殊な機能が搭載されている
  - 2つ以上の区画に分かれている
- USB機器の再生について
  - 接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
  - 一度に複数のUSB機器を接続しないようにしてください。また、USBハブは使用しないでください。
  - 本機はUSB2.0フルスピードに対応しています。
  - USB機器に入っているMP3/WMAファイルを再生できます(最大転送速度は2Mbps)。
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - USB機器のなかには、本機で再生できないものがあります。
    また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル（著作権保護されたファイル)などは再生できません。
- 本機はディスク1枚あたり255グループまで認識できます。また、ディスク1枚あたりで本機が認識できるグループと曲を合わせた総数は512です(MP3/WMAファイルの場合)。
- 本機はUSB機器1台あたり99グループと999曲まで認識できます(1つのグループ内では最大255曲まで認識できます)。

本機の故障または不測の事態により、ディスクやUSB機器の再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る (→ 5ページ)

- iPod対応表:

iPodの種類	音楽	ビデオ
iPod nano 1GB/2GB/4GB	○	–
iPod nano (第2世代) 2GB/4GB/8GB	○	–
iPod nano (第3世代)4GB/8GB	○	○
iPod nano (第4世代)8GB/16GB	○	○
iPod mini 4GB/6GB	○	–
iPod mini (第2世代)4GB/6GB	○	–
iPod (第4世代) 20GB/40GB	○	–
iPod classic 80GB/120GB/160GB	○	○
iPod photo (第4世代) 20GB/30GB/40GB/60GB	○	○*
iPod video (第5世代) 30GB/60GB/80GB	○	○
iPod touch 8GB/16GB/32GB	○	○
iPod touch (第2世代) 8GB/16GB/32GB	○	○

* 静止画のみ

- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

時計・タイマーを使う (→ 6ページ)

- 時計を合わせたり、タイマーを設定するときは、本機の電源が入った状態で行なってください。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレを生じます。その場合は、もう一度合わせ直してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたときは、時計やタイマーの設定が取り消されます。もう一度時刻を合わせ、タイマーを設定してください。

タイマーの優先順位:

- デイリータイマーで再生が始まったあとに、おやすみタイマーを設定すると、デイリータイマーの設定は無効になります。

表示窓

RESUME (→ 4ページ)
S.TURBO (サウンドターボ) (→ 3ページ)
スーパーバス (→ 3ページ)
ファイル形式 (→ 4ページ)
再生モード (→ 4ページ)
バンド
FMモード (→ 5ページ)
CD USB iPod
1 ALL RND PRGM WMA MP3 S.TURBO BASS RESUME FM AM S M
1 2 3
SLEEP A.STBY
タイマーモード (→ 6ページ)
SLEEP (→ 6ページ)
メインディスプレイ
A.STBY (オートスタンバイ) (→ 6ページ)
ソース(音源)

他のオーディオ機器の音楽を聞く

1 ＋ 音量 － 音量を下げます。

2 AUDIO IN FM/AM くり返し押して「AUDIO IN」を選びます。

3 接続した機器を再生します。

4 音量を調節します。

音声入力レベルを設定する

AUDIO IN 端子に接続した他のオーディオ機器からの音声が小さすぎる場合、音声入力レベルを適切に設定することで、他のソース（音源）と音量を合わせることができます。

ソース(音源)で「AUDIO IN」を選んでいるとき、入力レベルが表示されるまで押し続けてください。
押すごとに次のように切り換わります。

数値が大きくなるほど、音量が大きくなります。

時計・タイマーを使う

■ 時計を合わせる

時計を合わせないと、デイリータイマーやおやすみタイマーを設定できません。
- 時計を合わせるまで表示窓には「AM 12:00」が点滅します。

1 時計/タイマー → 決定　本機の電源が切れているときに押し続けると設定画面が表示されます。

AM 12:00

- すでに時計を合わせているときは、設定画面が表示されるまでくり返し押してください。

2 「時」を合わせてから、次に「分」を合わせてください。

- 操作の途中で[メニュー/キャンセル]を押すと、前の手順に戻ります。

■ おやすみタイマーを使う

オートスタンバイ/スリープ　押すごとに時間(単位:分)が次のように切り換わります。

→10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → OFF ← 180 ← 150 ←

「SLEEP」が点灯します。

- おやすみタイマーが設定されているときに[SLEEP]を押すと、残り時間を確認できます。

■ 自動的に電源を切る（オートスタンバイ）(CD/USB選択時のみ)

オートスタンバイ/スリープ　表示窓に A.STBY表示が点灯するまで押し続けます。
- 再生が終わると A.STBY表示が点滅します。
  3分間停止状態が続くと、電源が切れます。

オートスタンバイを解除するには、もう一度押し続けてください。

■ デイリータイマーを使う

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。
- 最大3件まで登録できます。
- デイリータイマーを使う前に、あらかじめ再生したいソース(音源)を準備してください。

1 時計/タイマー → 決定

設定したいデイリータイマーの番号(⏲ 1/⏲ 2/⏲ 3)が点灯するまでくり返し押します。「DAILY 1」、「DAILY 2」または「DAILY 3」が表示されている間に[決定]を押します。

2 UP または DOWN → 決定

① タイマーの開始時刻（「時」と「分」）を設定します。
② タイマーの終了時刻（「時」と「分」）を設定します。
③ ソース（音源）を選びます。(CD、USB、TUNER FM、TUNER AM、iPod)
④ 音量を選びます。
- VOLUME MIN(0) ～ VOLUME MAX (40)の範囲で設定します。「VOLUME – –」を選んだ場合は、本機の電源を切ったときの音量に設定されます。

3 ⏻/I　電源を切ります。

- タイマーの開始時刻になると、設定した音量まで徐々に大きくなっていきます。

- タイマーの設定をやめるには、[メニュー/キャンセル]をくり返し押してください。
- 操作の途中で間違いを修正するには、[メニュー/キャンセル]を押してください。前の手順に戻ることができます。

デイリータイマーを解除する

1 時計/タイマー

くり返し押して「DAILY 1」、「DAILY 2」または「DAILY 3」を選びます。

2 メニュー/キャンセル

選んだデイリータイマーの設定を解除します。

お手入れについて

快適にお使いいただくために、常にディスクや本機を清潔に保ってください。

ディスクの取り扱い

- ディスクをケースから出すときは、中央の穴を軽く押しながら、ディスクの端を持ってください。
- ディスクの光沢面を触ったり、折り曲げたりしないでください。
- 使用後はケースに戻してください。
- ケースに入れるときに、ディスクの表面を傷つけないように気をつけてください。
- 直射日光や高温多湿をさけてください。

ディスクの掃除

- 柔らかい布で、内側から外側へまっすぐふきとってください。

本体の掃除

- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度お確かめください。

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。
➡ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。
➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで本機を操作できない。
➡ リモコンと本機の受光部との間を遮らないようにしてください。
➡ 新しい電池に交換してください。

音声が聞こえない。
➡ スピーカーコードを正しく接続してください。
➡ ヘッドホンのプラグを抜いてください。

CD/USBの操作

CDやUSBの再生が始まらない。
➡ ディスクの文字のある面を上にして入れてください。
➡ 「パケットライト方式(UFDフォーマット)」で録音されたディスクは再生できません。再生したいファイルを確認してください。
➡ USB機器を正しく接続してください。

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。
➡ 再生順はグループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。

CDやUSB機器からの音声が途切れる。
➡ 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。
➡ 正しく書き込まれた MP3/WMAファイルを再生してください。

USB機器からの音声が遮られる。
➡ 本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

ディスクトレイの開閉ができない。
➡ 電源プラグをしっかり差し込んでください。
➡ チャイルドロックを解除してください。(→4ページ)

iPodの操作

表示窓に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。
➡ iPodを充電してください。

ラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。
➡ アンテナを正しく接続してください。
➡ AMループアンテナを本体から少し離してください。
➡ FMアンテナを調整し直すか、本機の設置場所を変えてください。
➡ 本機の電源を切り、入れ直してください。

タイマーの操作

タイマーが作動しない。
➡ タイマーは、電源が入っていないときのみ作動します。

上記の処置をしても正しく動作しないときは…

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。
- 本機の故障または不具合等により、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

■ 本体 (CA-UXLP7/CA-UXLP6/CA-UXLP5)

アンプ部

実用最大出力	30 W + 30 W (JEITA THD10% /6 Ω)*
入力端子	500 mV/47 kΩ (LEVEL 1) 250 mV/47 kΩ (LEVEL 2) 125 mV/47 kΩ (LEVEL 3)
スピーカー/インピーダンス	6 Ω - 16 Ω
デジタル入力	USB端子

チューナー部

受信周波数	FM:76.0 MHz ～ 90.0 MHz AM:531 kHz ～ 1 629 kHz

CD プレーヤー部

ダイナミックレンジ	88 dB
S/N比	85 dB
ワウフラッター	測定限界以下

iPod 部

iPod 出力電源	DC 5 V ⎓ 500 mA
ビデオ出力	コンポジット

USB 部

仕様	USB 2.0フルスピード規格対応
対応機器	USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム	FAT16、FAT32
USB出力電源	DC 5 V ⎓ 500 mA

共通

電源電圧	AC 100 V (50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	35 W(電源入時) 8 W(電源待機時) 1 W 以下（電源待機時、エコモード入）
寸法	幅 165 mm x 高さ 259 mm x 奥行き 258 mm
質量	約1.9 kg

■ スピーカー (SP-UXLP7/SP-UXLP6/SP-UXLP5)

スピーカーユニット	10 cm x 1 1.5 cm x 1
インピーダンス	6 Ω
寸法	幅 140 mm x 高さ 250 mm x 奥行き 188 mm
質量(1本あたり)	約1.4 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- * は、JEITA（電子情報技術産業協会）の測定法に基づく数値です。